

PDF版拡大図書の教科書データの書き込み等をiPad内のファイルへ保存してからUDブラウザのデータに読み込み（上書き）

「ブックマーク、書き込み、メモ」のデータをiPad内のファイルに保存することができます。保存したデータをUDブラウザに読み込み、保存した書き込みデータを教科書データに上書きすることができます。（上書きするためには、同じファイル名の教科書データが入っていることが条件ですので、PDFモードのみのデータからリフローモード付のデータ更新の際にご活用ください。）

*** 転送する先の教科書データに、読み込むデータ以外のブックマーク・書き込み・メモがある場合、上書きによって、既存のデータが消えてしまいますので、ご注意ください。**

(1) 書棚から、転送したい書籍（データ）を左にスワイプすると「転送」が出てきます。（図1）

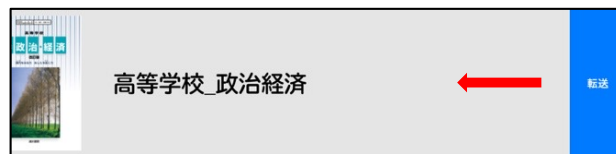


図1 書籍を左にスワイプして「転送」を表示

(2) 「転送」をタップすると転送するファイル形式を選択する画面に切り替わり、「ブックマーク、書き込み、メモ」がONの状態です。データ転送画面が表示されます（図2）。

* 教科書データそのものは転送できないため、PDF、JSON、HTML、テキストのボタンはONにすることはできません。（自作教材の場合は、UDブラウザに読み込まれているデータ形式すべてがONになり、データを保存することができます。）

* 書籍に記録されている、ブックマーク、書き込み、メモが全てまとめて転送されます。

* ブックマーク、書き込み、メモの特定のページや別々にデータを転送したい場合は、UDブラウザ内にあるマニュアル「5.9しおり（ブックマーク）等一覧」をご確認ください。（この場合、教科書データへの上書きはできません。）

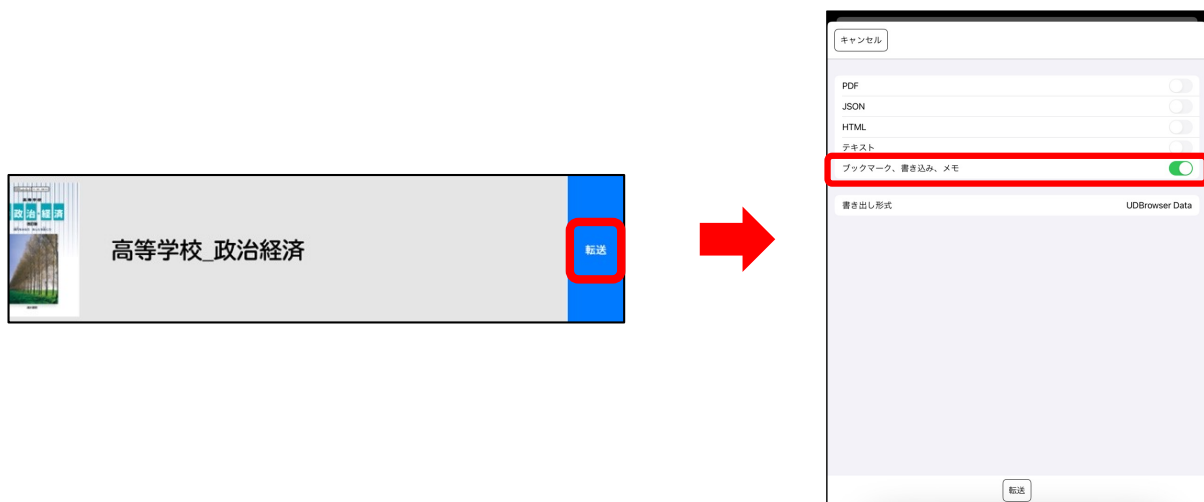


図2 「転送」をタップすると出てくる画面
(教科書データの書き込み等の転送)

(3) 画面一番下にある「転送」をタップすると、転送方法などの選択画面が出てきます。その中の、「“ファイル”に保存」を選択してください。(図3)。

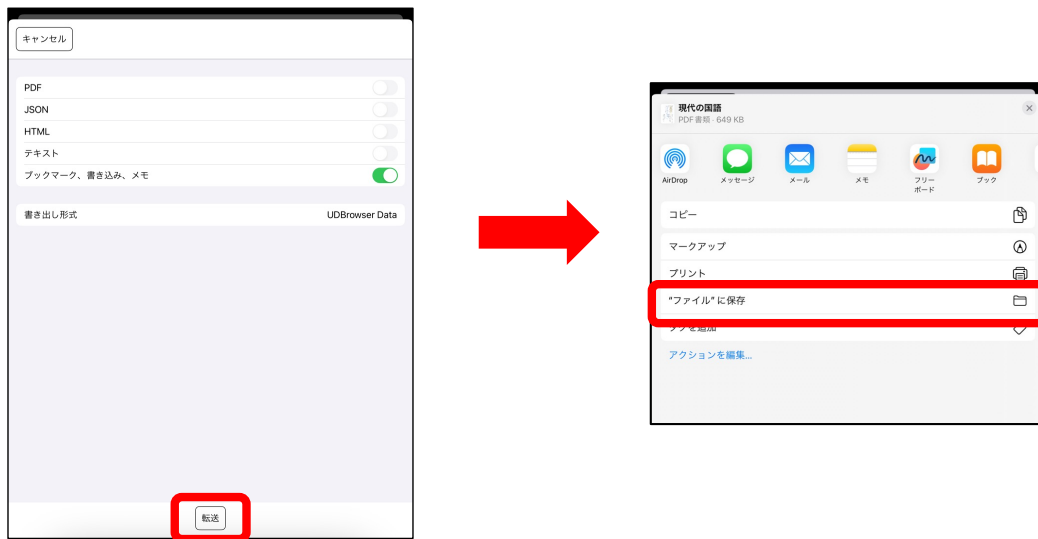


図3 “ファイル”に保存を選択

(4) 保存画面に切り替わりますので、必要であれば画面一番下に表示されている保存名を変更してください。その後、右上にある「保存」をタップすると、iPad内のファイルに保存されます(図4)。

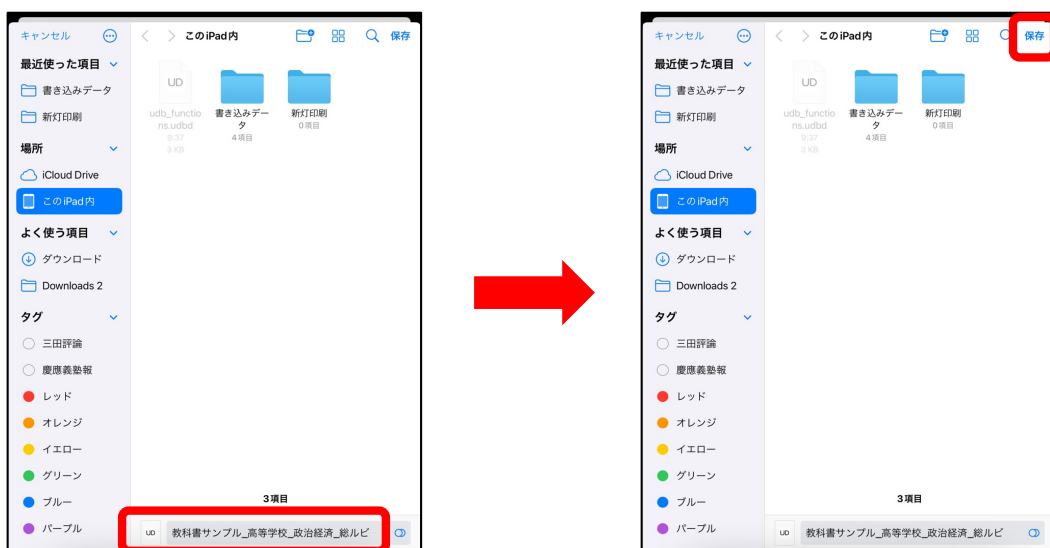


図4 保存画面

(5) 「ファイル」から保存したデータを選択し、タップして表示します（図5）。

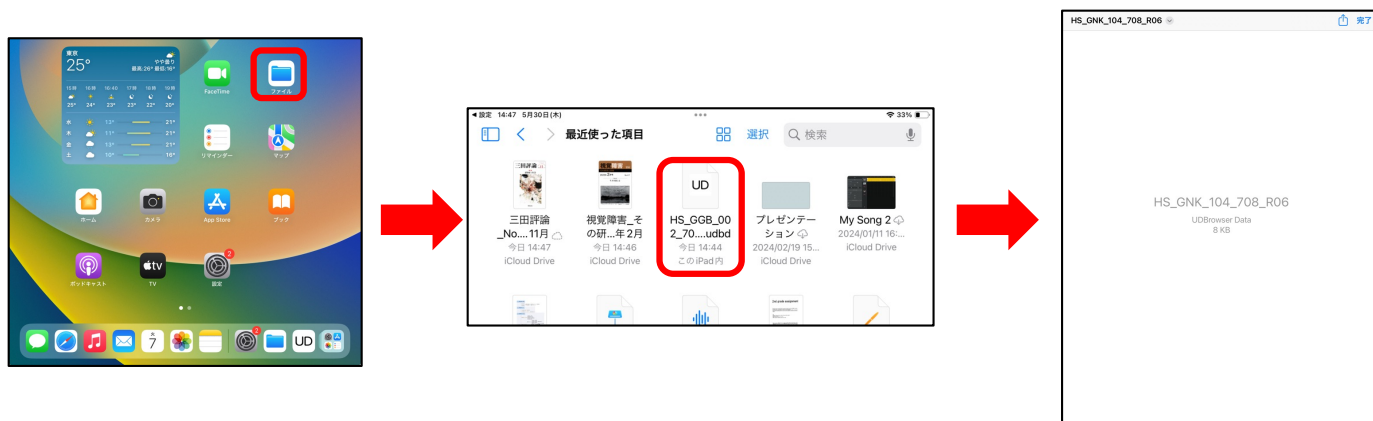


図5 フォルダから転送したデータを表示させる

(6) 送信マークをタップして出てきたアイコンの中の、「UD」をタップすると、UDブラウザにデータを読み込む画面に切り替わります。（図6）。

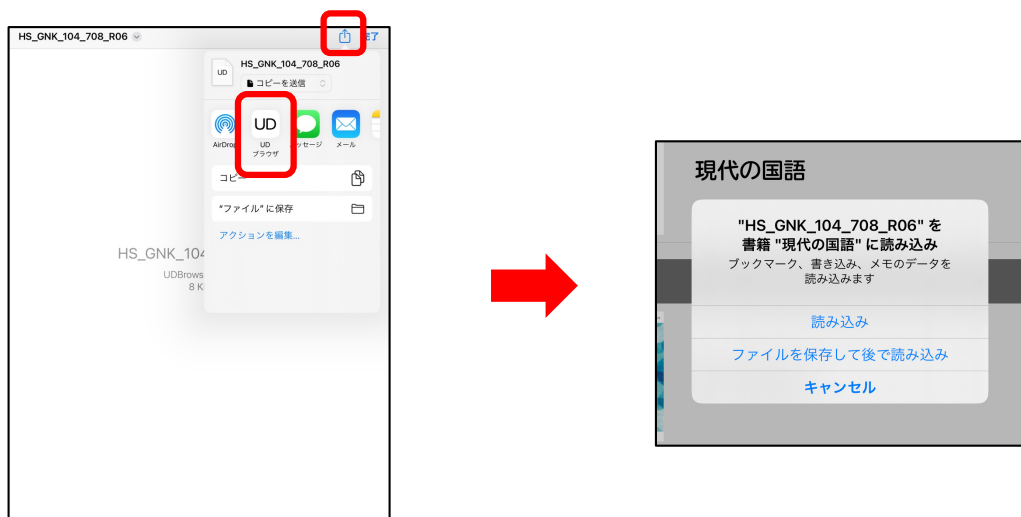


図6 受け入れアプリ選択画面

* 「UD」の表示がない場合は、AirDropがある行を左にスワイプしていただくと、表示が出ます（図7）。

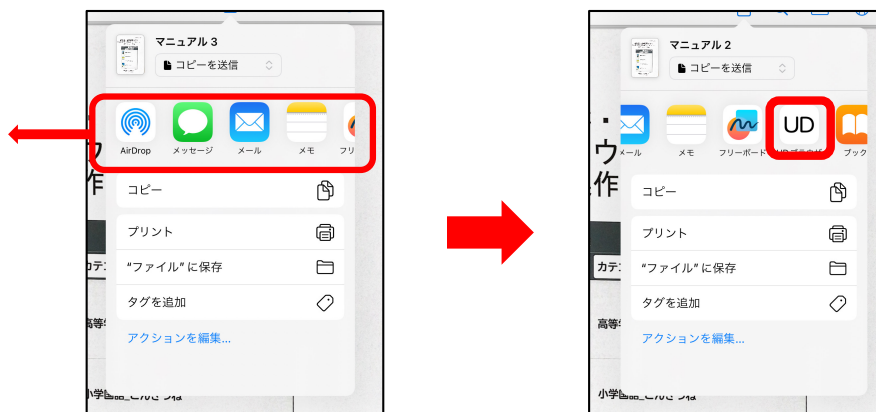


図7 「UD」の表示を出す画面

(7) 表示されている画面の「読み込み」をタップすると、読み込み完了画面に切り替わるので、「OK」をタップしてください(図8)。
これで、教科書データの書き込み転送・読み込みの操作は終了です。

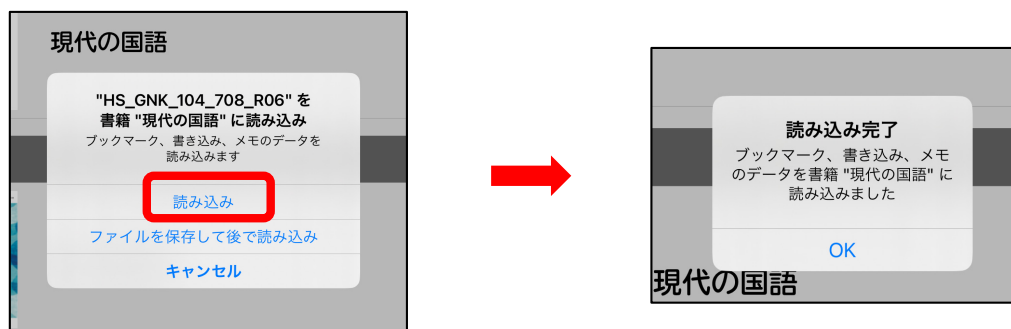


図8 読み込み表示画面

* 書き込みを転送する先の教科書データに既に書き込みがされていると、上書き表示ができません。「上書きする」をタップすると、既存のデータが転送した書き込みデータに上書きされます(図12)。

* 既存データに、上書きするデータ以外のブックマーク・書き込み・メモがある場合、上書きによって、データが消えてしまいますので、ご注意ください。

* 既存の書き込みやメモが必要な場合は、マニュアル「5.9しおり(ブックマーク)等一覧」を参照し、データを転送・保存して、追記してください。ブックマークは、データ化できませんので、別途記録して登録してください。

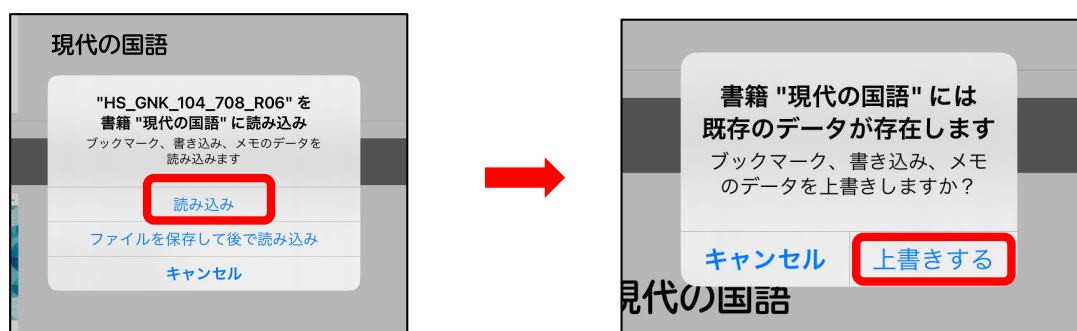


図9 上書き表示の画面

* 「ファイルを保存して後で読み込み」を選択すると、転送したデータをUDブラウザに保存することができます。保存したデータを読み込む方法は、マニュアル「7.4転送したファイル(データ)を読み込む」をご確認ください。

※読み込む教科書データがない場合

読み込む教科書データがないと、UDブラウザにデータを保存する表示が出ます（図10）。

「キャンセル」をタップすると、データは保存されず、書棚画面に切り替わります。「保存」をタップするとUDブラウザに保存されます。



図10 アプリケーションに保存する画面

「保存」を選択した場合、データは書棚にある「ファイル読み込み」の「書き込みデータを読み込む」に保存されます（図11）。



図11 データの保存先